

平成 30 年度 大田区区民協働推進会議（第 5 回）

日時：平成 30 年 12 月 20 日（木）

場所：本庁舎 2 階 204 会議室

【議題】

1 平成 30 年度の調査・研究テーマについて

- (1) 「大田区立小・中学校「おやじの会」実態調査（続き）」について
- (2) 「地域力応援基金助成事業の見直し」について

2 その他

【出席者】

委員：中島・牛山・川口・平澤・茂野・櫻井・柳谷・長沼

事務局：地域力推進部長、区民協働担当課長・地域力連携協働支援員・区民協働担当 2 名

【会議録】

	《開会》
事務局	委員 11 名のうち 8 名の方にご出席いただいています。過半数に達していますので、大田区区民協働推進会議設置要綱第 6 条に基づき、会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。
会長	《会長あいさつ》
会長	部長から挨拶をお願いします。
部長	《部長あいさつ》
会長	会議を始めさせていただきます。 まず、「大田区立小・中学校「おやじの会」実態調査（続き）」について、事務局から説明をお願いします。
支援員	本テーマは、自治会・町会などの地域活動の担い手が高齢化する中、現役世代のコミュニティとして注目されているおやじの会について平成 29 年度から調査しているものです。調査の目的は、おやじの会がある区立小・中学校数や各会の人数規模、運営形態、活動内容、収入方法、発足時期などを把握するとともに、おやじの会が地域で果たしている役割を明らかにし、今後の可能性を展望することです。調査にあたり、おやじの会が果たす役割として、①自治会・町会など年配者中心のコミュニティを補完していること、②義務感を伴う活動になりがちな PTA を補完していること、の 2 つの仮説を立てています。平成 29 年度はアンケート調査でデータ収集を行い、平成 30 年度は活動事例について調査しています。 今回まとまった活動事例集は、おやじの会同士で参考にしてもらうだけでなく、地域の中でおやじの会の存在を認識していただくための参考となればと考えています。 調査対象は、平成 29 年度におやじの会があると回答した小学校 41 校、中学校 9 校の計 50 校で、回収できた数字は小学校が 56%（41 校中 23 校）、中学校が 78%（9 校中 7 校）で、合計で 60%（50 校中 30 校）です。さらに 2 校から連絡があり、活動事例集に掲載予定です。 全体的な活動の傾向として、「力を入れている取組」では、花火大会や映画祭等の主催

	<p>事業やPTAとの共催等に加え、学校への協力として行事でのパトロール等、地域への協力としてイベントや祭礼の運営協力があり、ほとんどの学校で地域への協力事例が見られました。</p> <p>ユニークな取組としては、こども食堂への協力、他校おやじの会との合同イベント、防災活動がありました。</p> <p>「メンバーが加入・活動しやすくなる工夫」としては、「できる人が できる時に できることを」を基本方針としている点、会員以外のボランティアも募集している点、入学時期に合わせて案内をする点、家族ぐるみで親睦を図っている点が挙げられました。</p> <p>本日は、この活動事例集（案）を受けて、①今後おやじの会に期待すること、②今回作成する活動事例集の活用方法について、委員の方のそれぞれの立場からご意見をいただきますようお願いいたします。</p>
会長	一人ずつご意見をお願いします。
櫻井委員	義務感を伴いがちなPTAの活動に対し、自由な雰囲気で行われているおやじの会が、今後も発展して行ってほしいと思います。
柳谷委員	私は6月の実態調査報告会にも出席し、おやじの会の方々の力強さを感じました。この雰囲気が発展してほしいと思いますし、そのためにこの2年間の調査が形になればいいなと思っていました。私自身の子育て経験から、おやじの会の活躍は見てきましたが、男性中心のコミュニティであり、詳しい活動状況はわかりませんでした。事例集として発行することで、いろいろな方がおやじの会に興味を持つきっかけになるのではと期待しています。
長沼委員	特別出張所や現在の防災危機管理課での経験から、おやじの会の方が参加することで活動がダイナミックになり活性化につながっていると実感しています。この調査でまとめた活動事例を周知・広報することで、地域防災力の向上が期待できると考えます。活動事例集を活用し、さらに活性化してほしいと思います。
茂野委員	これまでの実態として、NPOは自治会・町会とうまく関係性を築けてきていないと感じています。区民活動団体とは連携・協働が広がりつつありますが、一般的にNPOは隣近所との関係を築くというのが今後の課題だと考えます。おやじの会は、NPOの活動メンバーと比較的年齢が近いこともあり、関係を築きやすいのかもしれませんが、おやじの会が行っている学校向けの取組みに、我々NPOの課題とうまくタイアップできる部分があるのかどうか、まだ詰め切れていません。これからの検討です。
川口委員	おやじの会は地域行事にも協力してくれています。これからも活動が広がってほしいと思います。また、おやじの会の活動事例をPTAにも広報してほしいと思っています。それぞれの会がいろいろな発想を持っているので、刺激になると思います。
平澤委員	私は、基本的におやじの会の存在を認めたくありません。というのは、PTAの存在は何なのかと考えるからです。中には女性がいるおやじの会もあり、男女問わずみんなでサポートするなら、あえておやじの会があるのはどうしてでしょうか。男性が参加しやすいセクションを作っているのだと思いますし、その点は理解できますが、PTAの会長は男性が多いことも事実で、おやじの会と分離するのではないかと思います。区内の全学

副会長	<p>校にあるわけではないのもそういう理由ではないでしょうか。</p> <p>また、地域には子どもがいない家庭もありますが、子どもと関わりたいと思っている夫婦も少なくないと聞きます。保護者に限らず参加できるような場だといいと思います。</p> <p>おやじの会は自由に取り組んでいるよい活動であり、意義があると思います。一方で、結果報告や活動事例集の活用方法等、区が関わることで、おやじの会はこういう組織であると位置づけられてしまい、縛りのない良い点が失われるのではないのでしょうか。</p> <p>今回の調査で、こんなにいい活動があると明らかになり、数年後に再度調査を行うなど、見守っていくのがいいのではないかと思います。位置づけや活用方法の検討はしないほうがいいと思います。</p>
会長	<p>大田区の 18 地区はそれぞれ特徴があり、それぞれ違っていいと考えます。違いがあるからこそ、多様な取組みができます。おやじの会の活動も広がりを楽しんでいます、活動は目に見えないと広がらないものです。</p> <p>活用方法については、このままだと漠然として進まないのではないのでしょうか。地域に下りていかないのではないかと思います。</p>
支援員	<p>たとえば梅田小学校の例では、6月の実態調査報告会で仕入れた情報を全て実践し、新規会員の獲得に成功したと回答がありました。情報があることで、新たな取組みにもつながり、地域にも還元できると考えます。</p>
副会長	<p>支援員は、ご自身もおやじの会として活動されていますので、お考えをお聞かせください。</p>
支援員	<p>私は将来にわたり、地域と一緒に活動できる仲間を増やしたいと考えており、交流会などを通じて他の地域にも仲間ができるとよいと思っています。私もおやじの一員として、学校への協力、地域への協力等でおやじの会の重要性が増しているというのは、肌感覚で持っています。</p> <p>今回の調査で整えた情報が、おやじの会の運営や地域での連携に活用されるとよいと考えます。</p>
会長	<p>次に「地域力応援基金助成事業の見直し」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>前回の会議で見直し案をお示し、ご意見をいただきました。それを踏まえ、再度調整したものを今回お示しします。</p>

費目	現行制度	新制度	新制度における見積書の有無
団体外部への謝礼	・会員以外への謝礼 ・区の講師謝礼支払基準に準ずる ・ボランティア謝礼の金額制限なし ※近年は上限額(1日1,000円)設定	・会員以外への謝礼 ・区の講師謝礼支払基準に準ずる ・ボランティア謝礼は1日2,000円を上限 (事業当日及び準備に限る)	
交通費	・事業に係る交通費 ・団体会員の他、外部も計上可	・事業に係る交通費(会議に係る交通費は対象外) ・団体会員のみ。外部は謝礼に含む	
事務用消耗品	・用紙やインク等	・用紙やインク等 ※本体価格が1万円未満でも、耐用年数等を加味し物品と判断する場合あり	
物品購入	・本体価格が2万円以上 ・申請額全体の50%を上限	・本体価格が1万円以上を目安 ・1品につき、取得金額の50%を上限 ・本費目全体で申請額全体の25%を上限 ※継続時、残額計上は不可	○
リース・レンタル料	・車両や機材等のリース・レンタル料	・車両や機材等のリース・レンタル料	○
印刷料	・事業チラシ・ポスター等の印刷費 ・資料等の製本費	・事業チラシ・ポスター等の印刷費 ・資料等の製本費	○
郵送料	・郵送費 ・運搬費	・郵送費 ・運搬費	
保険料	・イベント保険料 ・ボランティア保険料	・イベント保険料 ・ボランティア保険料	
委託費	・保育やチラシデザインの委託費	・チラシデザインの委託費 ・本費目全体で申請額全体の20%を上限(ただし、バリアフリーの観点からイベントでの手話通訳等は相談に応じる)	○
会場使用料	・会議室等の使用料 ・経常費用は計上不可	・会議室等の使用料 ・経常費用は計上不可	
その他経費	・上記以外で事業に必要な経費 (例: 衣装クリーニング代)	・上記以外で事業に必要な経費 (例: 衣装クリーニング代)	

(※) 上図はスタートアップ助成(案)

事務局

スタートアップ助成及びステップアップ助成はほぼ同じ内容ですので、まとめてご説明します。

ボランティア謝礼は、前回ご意見をいただき、一律2,000円としました。積算内容は、往復の交通費及び昼食代相当です。

事務用消耗品は、前回の案では10,000円を目安としていましたが、10,000円未満でも長期にわたり使用できる品物もあるとご意見をいただきました。このことから、10,000円未満でも耐用年数を加味し物品として判断する場合がある旨追記しました。

委託費は、手話通訳等の情報保障の際の上限額について意見があったため、バリアフリーの観点から手話通訳等は相談に応じる旨追記しました。

事務局

続いて、チャレンジ助成についてご説明します。

費目	現行制度	新制度	新制度における見積書の有無
団体外部への謝礼	・会員以外への謝礼 ・区の講師謝礼支払基準に準ずる ・ボランティア謝礼の金額制限なし ※近年は上限額(1日1,000円)設定	費目を【謝礼】とし、会員も対象とする。 (1)外部講師謝礼 区の講師謝礼支払基準に準ずる (2)ボランティア謝礼	
団体内部の人的費	・事業実施に係る団体会員への支払 ・申請額全体の50%までを上限	1日2,000円を上限とする (事業当日及び準備に限る)	
交通費	・事業に係る交通費 ・団体会員の他、外部も計上可	【助成対象外】	
事務用消耗品 消耗品	・用紙やインク等	・用紙やインク等 ※本体価格が1万円未満でも、耐用年数等を加味し物品と判断する場合あり	
物品購入	・本体価格が2万円以上	・本体価格が1万円以上を目安 ・1品につき、取得金額の20%を上限 ・本費目全体で申請額全体の25%を上限 ※継続申請した場合も計上可	○
リース・レンタル料	・車両や機材等のリース・レンタル料	・車両や機材等のリース・レンタル料	○
印刷料	・事業チラシ・ポスター等の印刷費 ・資料等の製本費	・事業チラシ・ポスター等の印刷費 ・資料等の製本費	○
郵送料	・郵送費 ・運搬費	・郵送費 ・運搬費	
保険料	・イベント保険料 ・ボランティア保険料	・イベント保険料 ・ボランティア保険料	
委託費	・保育やチラシデザインの委託費 ・申請額全体の50%を上限	・チラシデザインの委託費 ・本費目全体で申請額全体の20%を上限(ただし、バリアフリーの観点からイベントでの手話通訳等は相談に応じる)	○
会場使用料	・会議室等の使用料 ・経常費用は計上不可	・会議室等の使用料 ・経常費用は計上不可	
その他経費	・上記以外で事業に必要な経費 (例:衣装クリーニング代)	・上記以外で事業に必要な経費 (例:衣装クリーニング代)	

事務局

チャレンジ助成の謝礼については、前回団体外部謝礼と内部謝礼をまとめることとなりました。団体の会員であるか否かに問わず、ボランティア謝礼は1日2,000円としました。また、前回の案では、会員の交通費は別途助成対象としていましたが、2,000円の中に往復交通費相当が含まれていることから、今回の案では対象外としています。ただ、遠隔地での打合せなどの場合は交通費が2,000円を超えることもありますので、交通費の費目をどうするかについて、ご意見をいただきたいと思います。

平澤委員

どの経費も際限がないので、一定程度上限を設けたほうが良いと考えます。委託費についてはバリアフリーの観点で個別対応が必要な方もいるので、審査員が申請内容をもとに的確に判断すればよいと思います。

茂野委員

手話通訳は、本人が必要とする場合、時間制限はありますが無償で利用できる区の制度があります。主催者側の事情で依頼する場合の制度が現在ありません。情報保障は、手話での話者だけに必要なものではなく、双方向性を持っています。通訳者には専門性が求められるため、ボランティアはありえないと考えます。情報保障その

	<p>ものが多様であり、文字通訳などは参加者みんなが役に立つものです。</p>
副会長	<p>申請団体は、事業にどんな方が参加するかわからないが、必要があればこの助成金を活用すればいいのではないのでしょうか。参加者があらかじめ把握できていて手話通訳が必要な方がいる場合は、区の制度を利用することができそうです。</p>
茂野委員	<p>地方公共団体が主催する事業は、情報保障は義務となっています。自治体が助成をする事業に対し、どのように対策を講じるのか、助成金で対応できるようにするのか団体負担とするのか、検討の余地があると思います。</p>
会長	<p>会員の交通費を謝礼にまとめることについてご意見はありますか。</p> <p>《意見・質問なし》</p> <p>予定していた議題は以上です。</p>
会長	<p>事務局から報告はありますか。</p>
会長	<p>《事務連絡なし》</p> <p>《平成30年度 第6回は、2月26日（火）に開催》</p> <p>《平成30年度 第7回は、3月25日（月）に開催》</p> <p>《閉会》</p>